

令和6年度「総合的な探究の時間」指導計画書

学校番号	26	学校名	屋代南		高等学校	名称	「仕事と社会の諸課題に対する自己の在り方」探究				
		課程	全日		制						
学年	2	学 科	普通 科			生徒数	69	人	単位数	1 単位	
		コース	コース						時間数	35 時間	
目 標 (育成する資質・能力)		(1) 社会にある様々な仕事・職業の理解を深め、仕事と社会の関わりを探究することで、仕事が果たす社会への役割を明確にする。 (2) 実社会における諸課題について調査活動などを通して分析し、仕事を通して自分自身が果たしたい社会への役割・貢献について、具体的かる論理的にまとめて表現する。 (3) 仕事を通して自分自身が現代社会の諸課題に対してどのように向き合い、その課題をどのように解決して社会に貢献していくのかを探究し、具体的に示す。									
内 容 (探究する課題について明確にすること)		課題テーマ「社会貢献を果たした自分史をつくる」 (1) 仕事や働くことについて、外部講師による講演やグループワークを通じて理解を深める。 (2) 仕事を通してどのように社会に貢献していきたいかを考え、様々な情報媒体を用いた調査活動やグループワークを通して社会問題を解決するための事業計画を提案する。 (3) 事業計画が社会問題に対してどのような効果をもたらし、社会貢献に繋がっていくのかをまとめ、「自分史」として発表する。									
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法		備 考 (教材、場所等)	
						単元	各回の学習内容				
	1	4	11	木	5限	オリエンテーション	今年度の取り組みについて		講義	各教室	
	2		18	木	5限	情報収集	仕事・職業・会社についての調査・情報収集①		個別活動・グループワーク	各教室	
	3	25	木	5限	仕事・職業・会社についての調査・情報収集②		個別活動・グループワーク	各教室			
	4	5	2	木	5限	調査・分析	調査・情報収集に基づく分析①		個別活動・グループワーク	各教室	
	5		9	木	5限		調査・情報収集に基づく分析②		個別活動・グループワーク	各教室	
	6		15	木	5限	情報収集	身近な社会問題の調査・情報収集①		個別活動・グループワーク	各教室	
	7		23	木	5限		身近な社会問題の調査・情報収集②		個別活動・グループワーク	各教室	
	8		30	木	5限		身近な社会問題の調査・情報収集③		個別活動・グループワーク	各教室	
	9	6	6	木	5限	調査・分析	調査・情報収集に基づく分析①		個別活動・グループワーク	各教室	
	10		20	木	5限		調査・情報収集に基づく分析②		個別活動・グループワーク	各教室	
	11		27	木	5限		調査・情報収集に基づく分析③		個別活動・グループワーク	各教室	
	12	7	4	木	5限	課題の設定	課題設定		個別活動	各教室	
	13		11	木	5限	中間発表	途中経過の発表①		発表会	各教室	
	14		18	木	5限		途中経過の発表②		発表会	各教室	
	15		29	木	1日	情報収集	インタビュー調査①		校外研修	各教室	
	16		30	木	1日		インタビュー調査②		校外研修	各教室	
	17	8	29	木	5限	調査・分析	調査・情報収集に基づく分析		個別活動	各教室	
	18	9	5	木	5限	論理構成	課題解決に向けた具体的な事案を考える①		個別活動	各教室	
	19		12	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える②		個別活動・グループワーク	各教室	
	20		19	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える③		個別活動・グループワーク	各教室	
	21		26	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える④		個別活動・グループワーク	各教室	
	22	10	17	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える⑤		個別活動・グループワーク	各教室	
	23		24	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える⑥		個別活動・グループワーク	各教室	
	24		31	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える⑦		個別活動・グループワーク	各教室	
	25	11	7	木	5限		課題解決に向けた具体的な事案を考える⑧		個別活動・グループワーク	各教室	
	26		14	木	5限	課題解決に向けた具体的な事案を考える⑨		個別活動・グループワーク	各教室		
	27		28	木	5限	まとめ・表現	「自分史」の作成①		個別活動	各教室	
	28	12	5	木	5限		「自分史」の作成②		個別活動	各教室	
	29		12	木	5限		「自分史」の作成③		個別活動	各教室	
	30		19	木	5限	発表準備	プレゼンテーションの準備①		個別活動	各教室	
	31	1	9	木	5限		プレゼンテーションの準備②		個別活動	各教室	
	32		16	木	5限	発表	プレゼンテーション①		発表会	各教室	
	33		23	木	5限		プレゼンテーション②		発表会	各教室	
	34		30	木	5限		プレゼンテーション③		発表会	各教室	
	35	2	6	木	5限	振り返り	1年間の総括		講義	各教室	
評価の観点・方法		〈評価の観点〉 ・調査活動や情報収集で得た様々な知識や技能を、総括的に考えることができるか【知識及び技能】 ・身近な社会問題と仕事の関係について課題を設定し、適切な情報収集や整理・分析ができるか。【思考力・判断力・表現力】 ・社会問題や仕事における自己の在り方を、他者や社会との関わりの中で考え、的確にまとめることができるか。 【学びに向かう力・人間性等】 〈評価の方法〉 ・プレゼンテーション発表などの表現による評価 ・グループワークや話し合いの様子などの言語活動の記録による評価 ・調査や分析活動の状況などの観察記録による評価									